

第2回 香川県輸血 Web 研修会参加者 各位

このたびは第2回香川県輸血 Web 研修会へのご参加ならびにアンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケートからの質問回答と深堀先生からの追記コメントを掲載させて頂きました。

今後とも香川県臨床検査技師会 輸血研究班の活動にご支援、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

【質問】

D 陰性確認試験ではモノクローナル抗体試薬だけでなく、ポリクローナル抗体の試薬を準備するべきでしょうか。

【回答】

モノクローナル抗体でもメーカーによってカバーできる抗原に違いがあると思いますので、自施設で採用している試薬メーカーにお問い合わせ下さい。

【質問】

言葉の話で、ラージカビックの話がされていたと思います。オモテウラ不一致の症例でオモテ結果、ウラ結果、総合判定は、判定保留、保留のどちらを記載すればいいのでしょうか。

【回答】

あくまでも、判定に関しては保留となりますが、今回の研修会は認定輸血検査技師試験を念頭においてないことをご理解ください

【質問】

輸血後感染症検査を検査技師が依頼している施設の方のお話がありましたが、頻回輸血を繰り返す血液内科の患者様に対しての依頼という事で理解はしていますが輸血後感染症検査の依頼に関しては、患者様の同意を得ているのでしょうか？輸血に関する同意書の中で患者様の意向を確認しているのでしょうか？

またその施設に関して輸血する場合は輸血後感染症の検査の実施は絶対との意思表示がされているのでしょうか？検査技師が依頼を入力するまでの過程を教えてください。

【回答】

まず患者の同意について、輸血に関する説明に感染症検査についても触れられていますので、輸血同意書を取得している場合は感染症検査の同意を得ているものとみなしています。

次の輸血後感染症検査が絶対かという質問ですが、絶対ではありません。

血液疾患等で、長期間輸血を定期的に行っている患者に対して初回輸血から3か月頃に実施し、その後は1年に1回程度で実施しています。血液疾患患者でも、定期的に行っていない場合は輸血後感染症検査は実施していません。

【深堀先生より追記コメント】

RhD 血液型検査の説明に関して持論で予期せぬ反応と表現せず、異常反応と表現した箇所がありました。輸血学会から出されている「輸血検査のためのマニュアル」委員の奥田先生に確認したところ、予期せぬ反応は期待する通常反応以外を指しているとのことをご回答をいただきました。RhD 陰性については正常な反応ですが、予期されていないことであり、また不規則抗体スクリーニングで陽性に関しても同様とのことでした。